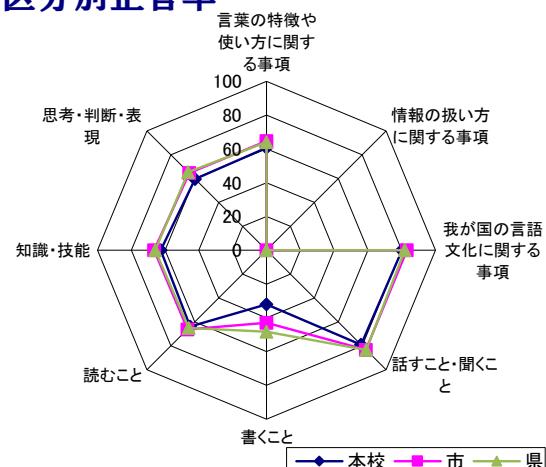


宇都宮市立宝木小学校 第5学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	60.7	64.7	64.1
	情報の扱い方に関する事項	0.0	0.0	0.0
	我が国の言語文化に関する事項	80.2	83.1	81.9
	話すこと・聞くこと	79.1	83.3	83.4
	書くこと	32.0	42.8	48.2
	読むこと	63.8	66.1	65.1
観点	知識・技能	62.6	66.5	65.9
	思考・判断・表現	59.7	64.6	65.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	平均正答率は、県の平均と比べて低い。 ○第4学年に配当されている漢字を正しく書く問題の「倉庫」の正答率は58.7%で、市の平均より2.8ポイント、県の平均より10.1ポイント上回った。 ●熟語の漢字の組み合わせの種類が同じものを選ぶ問題の正答率は23.1%で、市の平均より9.9ポイント、県の平均より15.4ポイント下回った。	・知っている熟語は書くことができても、別の使い方や、言葉の作りについては身に付いていないことから、新出漢字の学習をする際には、書きだけでなく、音訓読みや熟語の読み方を意識して行うようにしたり、言葉についてプリント学習を行ったりして、慣れ親しみ定着を図る。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は、県の平均と比べやや低い。 ●ことわざの使い方を理解し、正しく使っている文を選ぶ問題の正答率は80.2%で、市の平均より2.9ポイント、県の正答率より1.7ポイント下回った。	・ことわざなど自国の言語文化に関する図書資料をすぐに手に取れるように学級文庫等に置き、関心をもてるようになるとともに、朝の学習の読書の時間で読む機会を設けるようとする。 ・ことわざの意味を知り、それを用いて文を作る活動を取り入れることで、活用する機会を設け定着を図る。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、県の平均と比べ低い。 ●参加者の発言の内容を基に、司会者の発言に適する考えを書く問題の正答率は71.9%で、市の平均より5.2ポイント、県の正答率を5.4ポイント下回った。	・自分の意見を示す際に理由まで合わせて伝えられるようにするために、日頃の授業から自分の考えをもち、理由についても説明できるよう発問をしていくようとする。 ・発表するときや文に書くときの定型文、流れを繰り返し指導し覚えさせることで、普段の会話のなかでも、構成を意識して話すことができるようとする。
書くこと	平均正答率は、県の平均と比べ低い。 ●段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書く問題の正答率は26.5%で、市の正答率を12ポイント、県の正答率を19ポイント下回った。 ●指定された長さで文章を書く問題の正答率は3.8%で、市の正答率を12.3ポイント、県の正答率を18.6ポイント下回った。	・段落など作文の書き方を理解できていない児童が見られることから、国語の授業の書く単元において、基本的な作文のルールを確認しながら、進度を合わせて書くようにする。 ・国語の授業や朝の学習等で、指定された文字数で要旨をまとめるなど文字数を意識してまとめる活動を繰り返し行うことで、書くことに慣れると同時にまとめる方法を習得できるようとする。
読むこと	平均正答率は、県の平均と比べ低い。 ○文章の内容と合っていることを話している人物を選ぶ問題の正答率は72.7%で、市の正答率を5.5ポイント、県の正答率を6.8ポイント上回った。 ●文章の内容をまとめた文の空欄に適する言葉を書く問題の正答率は54.6%で、市の正答率を6.7ポイント、県の正答率を7.6ポイント下回った。	・宿題等で音読や黙読をすることを継続すると同時に、国語の授業において文章を読みながら中心となる語や文を見付ける活動や、内容のおおまかな流れや要旨を捉える活動に重点を置き、読む力の育成につなげる。